

証券化市場の動向調査

～2011年度の発行動向～

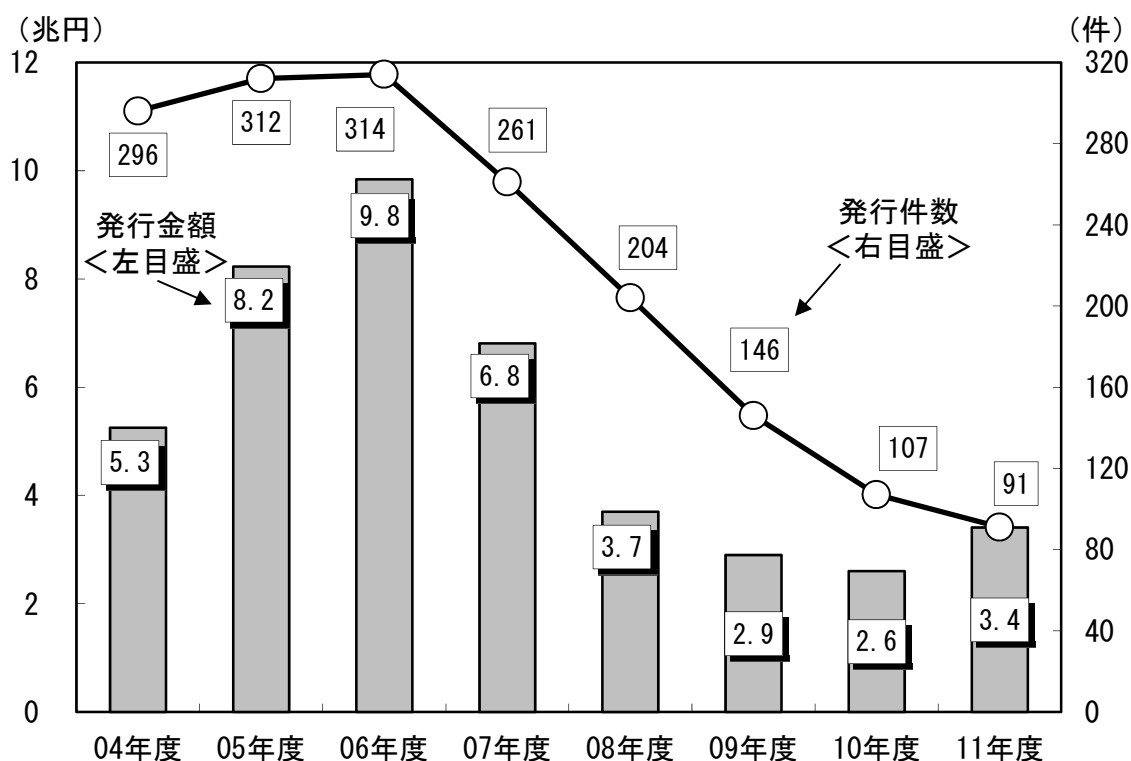
以下は、日本証券業協会及び一般社団法人全国銀行協会が毎月実施している「証券化市場の動向調査」（日本証券業協会ホームページ<<http://www.jsda.or.jp/>>参照）について、2011年度（2011年4月～2012年3月）の結果を取り纏めたものです。

図表データについては、別紙をご参照ください。また、参考として、『証券化市場の動向調査』における項目毎の記載割合」を取り纏めています。

1. 証券化商品全体の発行動向

2011年度における証券化商品の発行動向をみると、金額は、住宅金融支援機構債券の発行金額が過去最大となったことを主因に、5年ぶりに前年度を上回った（3兆4,063億円<前年度比+31%>）が、件数は、引き続き前年度を下回り、調査開始（2004年度）以来、最小となった（91件<同▲15%>）（図表1）。

（図表1）証券化商品の発行金額・件数



（参考）普通社債の発行金額

（単位：兆円<2011年度分は暫定数値>）

| 2004年度 | 2005年度 | 2006年度 | 2007年度 | 2008年度 | 2009年度 | 2010年度 | 2011年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 5.9 | 6.9 | 6.8 | 9.4 | 9.6 | 10.3 | 9.9 | 8.3 |

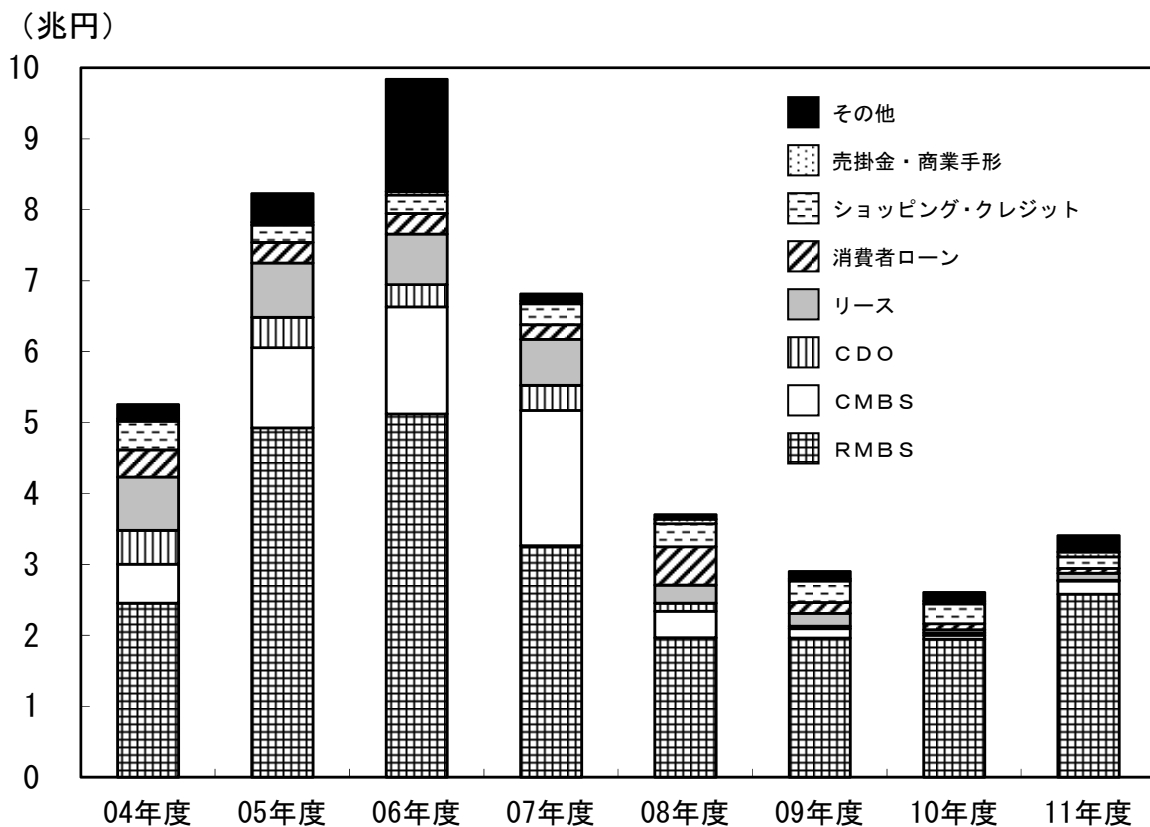
2. 裏付資産別の発行動向

2011年度における証券化商品の発行金額を「裏付資産」別にみると、「RMBS」が、住宅金融支援機構債券の発行金額が過去最大となったことなどから5年ぶりに増加したほか、「CMBS」が4年ぶり、「リース」も6年ぶりに増加した。さらに、「売掛金・商業手形」が2年連続、「その他」が3年連続で増加した。一方、「ショッピング・クレジット」と「消費者ローン」は3年連続、「CDO」は4年連続で減少した。

以上の結果、発行金額の「裏付資産」別の構成比は、「RMBS」が76%と、調査開始以来、最も高くなった（図表2）。

（図表2）証券化商品の「裏付資産」別発行金額

| | RMBS | CMBS | CDO | リース | 消費者ローン | ショッピング・クレジット | 売掛金・商業手形 | その他 | 合計 |
|----------|--------|-------|-----|------|--------|--------------|----------|-------|--------|
| 発行金額(億円) | 25,806 | 1,850 | 125 | 969 | 670 | 1,634 | 709 | 2,300 | 34,063 |
| 前年度比(%) | +33 | +236 | ▲64 | +125 | ▲18 | ▲41 | +63 | +92 | +31 |
| 構成比(%) | 76 | 5 | 0 | 3 | 2 | 5 | 2 | 7 | 100 |
| (参考)発行件数 | 23 | 7 | 3 | 5 | 1 | 17 | 29 | 6 | 91 |



(参考)裏付資産の具体的な分類は、以下のとおり。

「RMBS (Residential Mortgage Backed Securities)」: 住宅ローン債権、アパートローン債権

「CMBS (Commercial Mortgage Backed Securities)」: 商業用不動産担保ローン債権、商業用不動産

「CDO (Collateralized Debt Obligations)」: 企業向け貸付債権、社債、CDS等

「リース」: リース料債権

「消費者ローン」: 消費者ローン債権、カードローン債権

「ショッピング・クレジット」: ショッピング・クレジット債権、オートローン債権

「売掛金・商業手形」: 売掛債権、手形債権

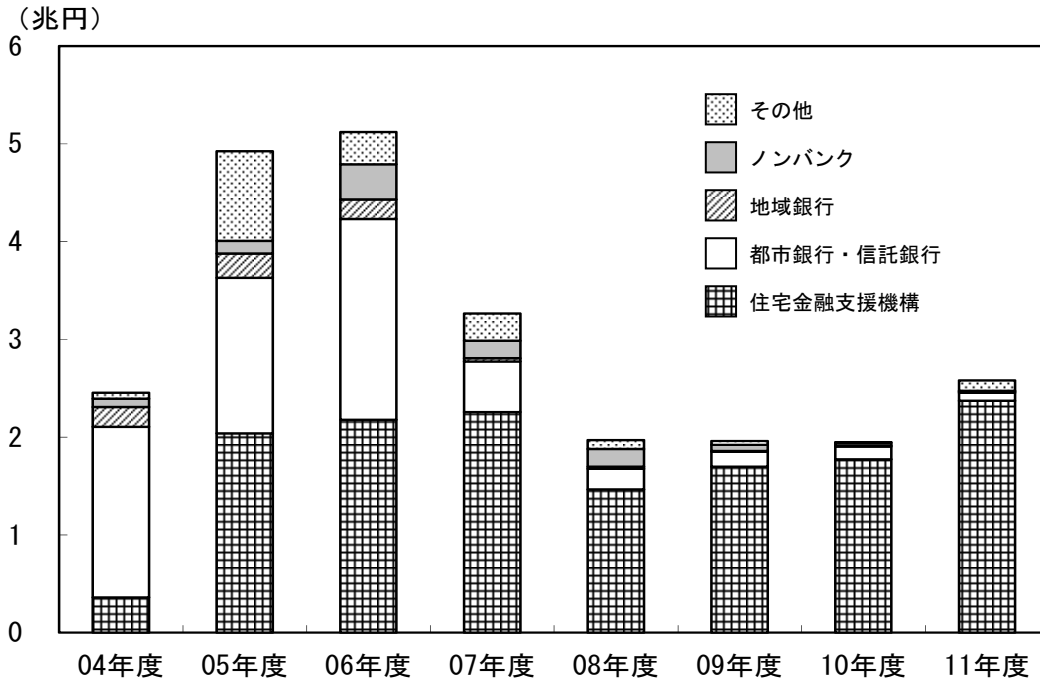
「その他」: 事業キャッシュフロー、診療報酬債権、基金債権等

2. - (1) RMBSの発行動向

①オリジネーター別

RMBSの発行金額（2兆5,806億円）を「オリジネーター」別にみると、「住宅金融支援機構」が92%（2兆3,708億円）を占めた（図表3）。

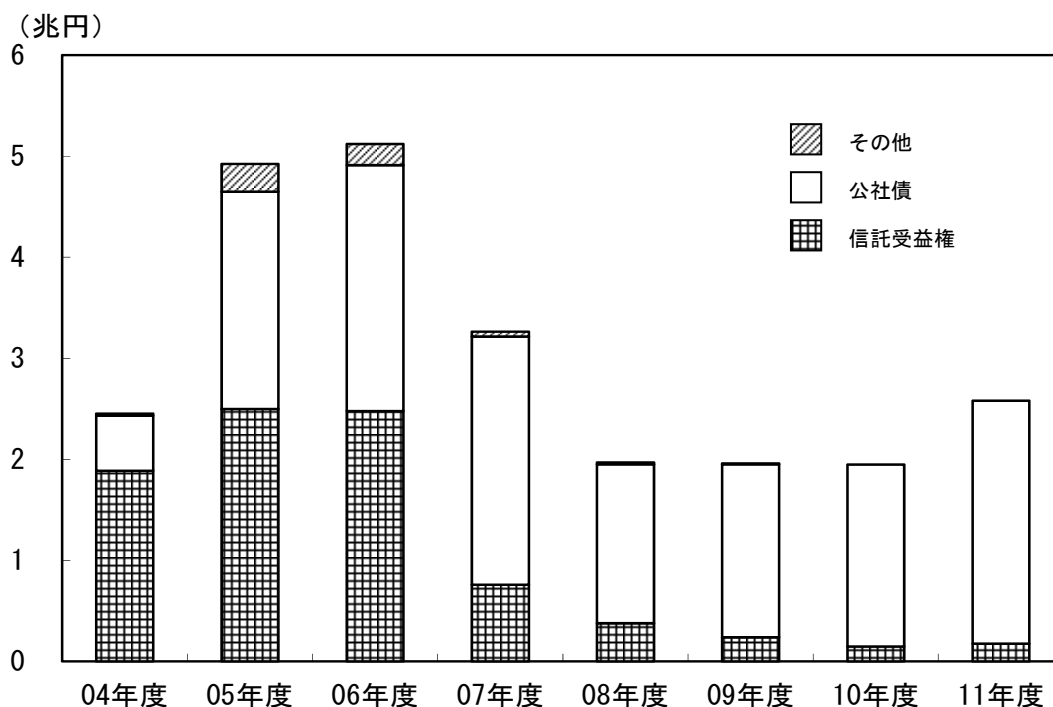
（図表3）RMBSの「オリジネーター」別発行金額



②発行形式別

RMBSの発行金額（2兆5,806億円）を「発行形式」別にみると、「公社債」が93%（2兆4,058億円）を占めた（図表4）。

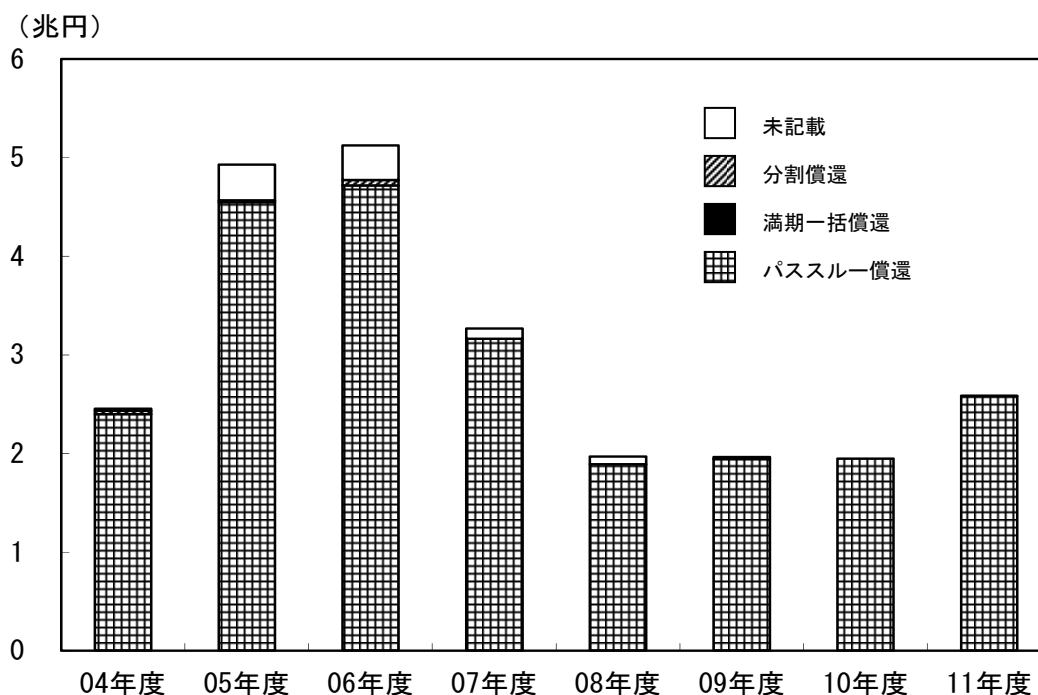
（図表4）RMBSの「発行形式」別発行金額



③償還方法別

RMBSの発行金額（2兆5,806億円）を「償還方法」別にみると、「パススルー償還」が99.9%（2兆5,782億円）を占めた（図表5）。

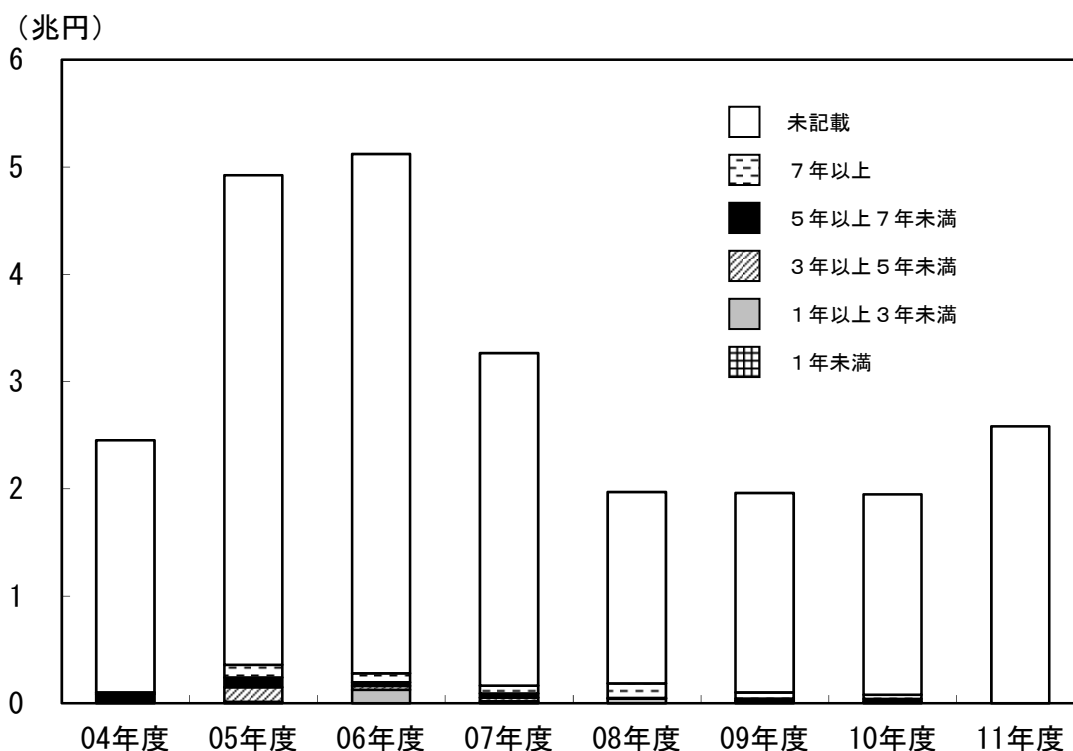
（図表5）RMBSの「償還方法」別発行金額



④予定／平均年限別

RMBSの発行金額（2兆5,806億円）の「予定／平均年限」については、すべてが「未記載」であった（図表6）。

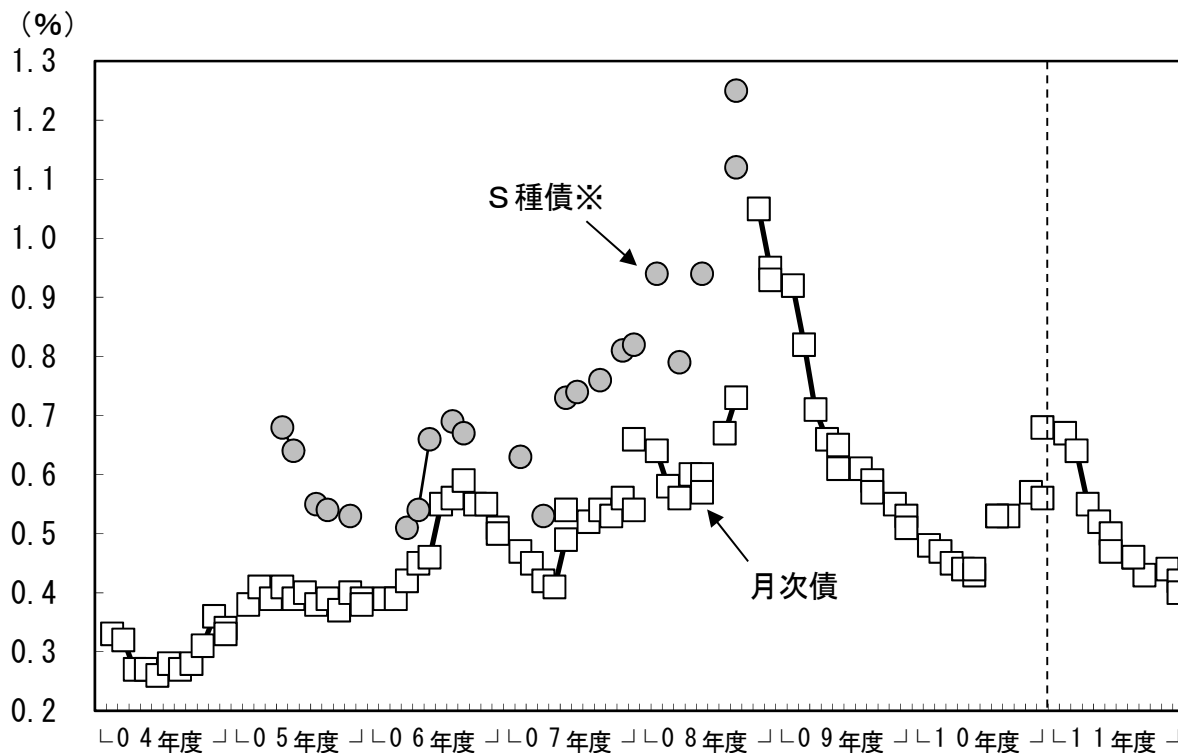
（図表6）RMBSの「予定／平均年限」別発行金額



⑤発行時のスプレッド

住宅金融支援機構RMBS（月次債）のローンチスプレッド（表面利率と条件決定時の国債利回りとの差）は、2010年度末に拡大した後、2011年度においては、縮小傾向を辿った（図表7）。

（図表7）住宅金融支援機構RMBSのローンチスプレッド



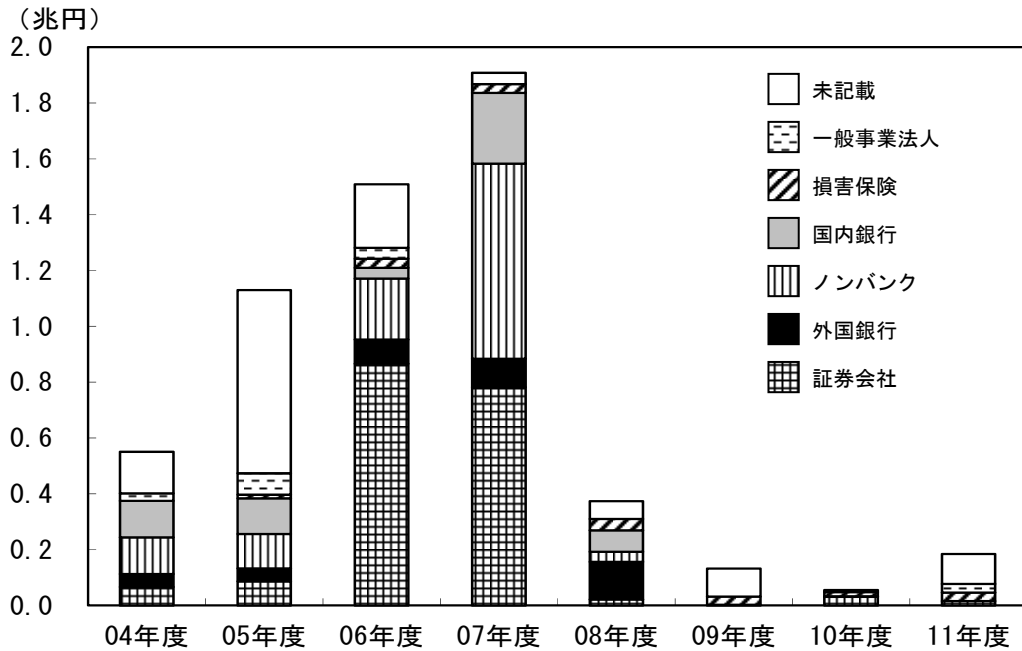
※ S種債（旧住宅金融公庫が過去に直接実行した住宅ローンを証券化したもの。）は2009年12月を最後に、発行されていない。

2. - (2) CMBSの発行動向

①オリジネーター別

CMBSの発行金額（1,850億円）を「オリジネーター」別にみると、「未記載」が58%（1,070億円）を占めたが、記載のある中では、「一般事業法人」（316億円）及び「損害保険」（306億円）がそれぞれ17%を占め、次いで「証券会社」が9%（159億円）を占めた（図表8）。

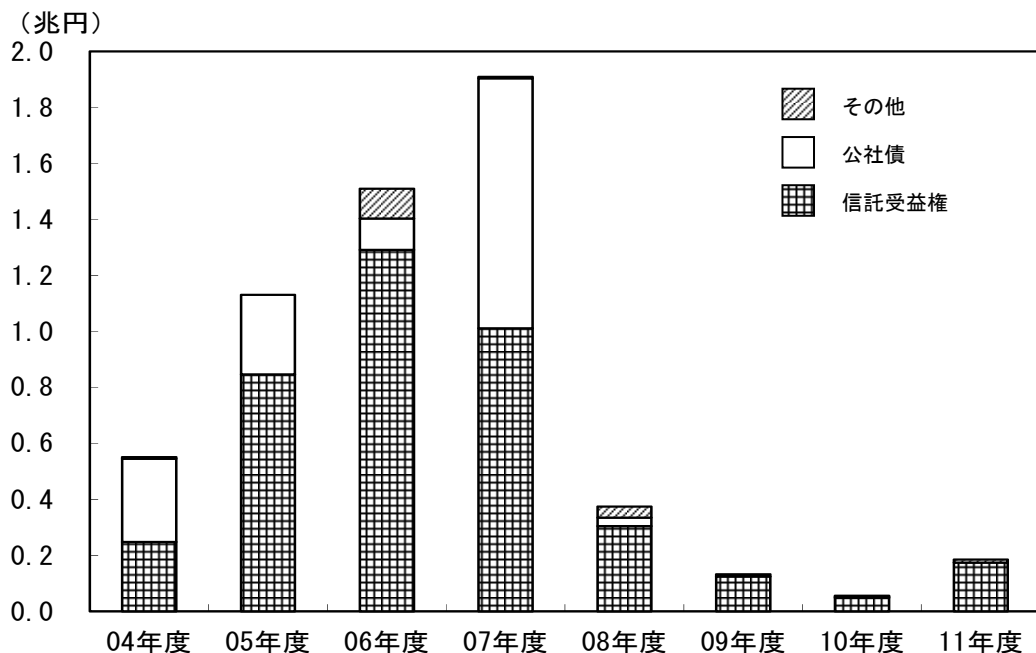
（図表8）CMBSの「オリジネーター」別発行金額



②発行形式別

CMBSの発行金額（1,850億円）を「発行形式」別にみると、「信託受益権」が94%（1,737億円）を占めた（図表9）。

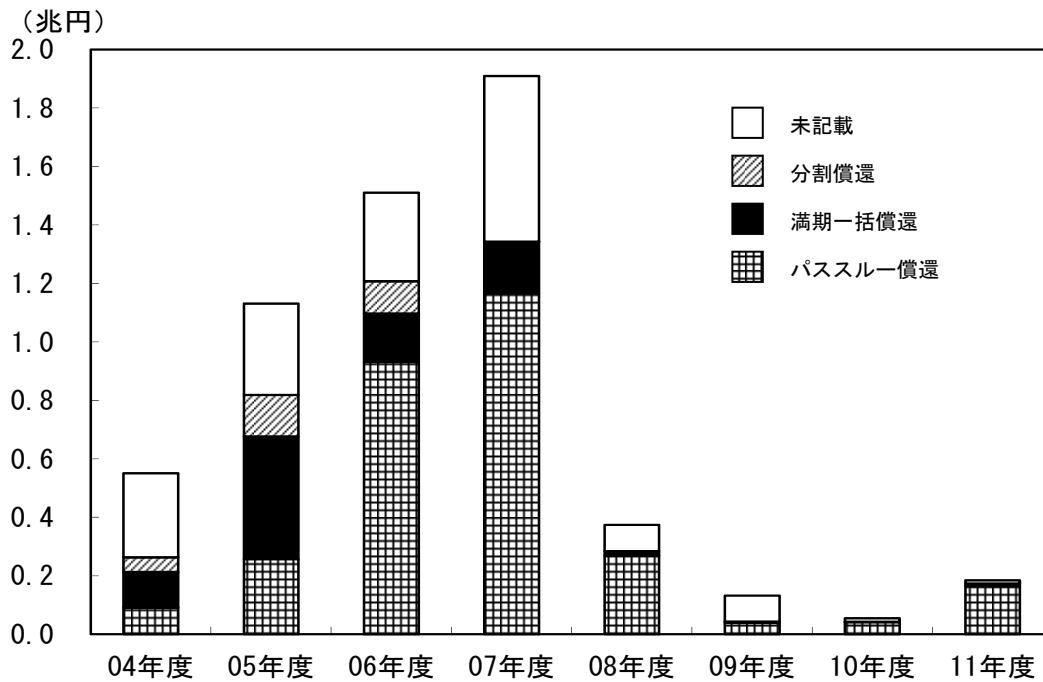
（図表9）CMBSの「発行形式」別発行金額



③償還方法別

CMBSの発行金額（1,850億円）を「償還方法」別にみると、「パススルー償還」が89%（1,644億円）を占めた（図表10）。

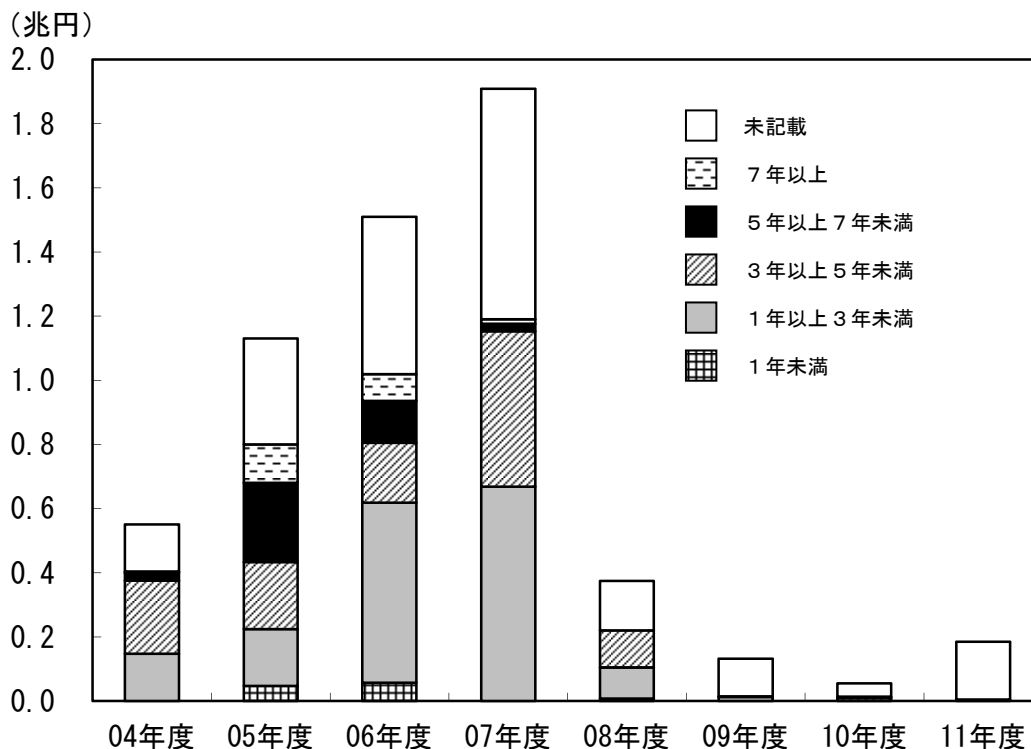
（図表10）CMBSの「償還方法」別発行金額



④予定／平均年限別

CMBSの発行金額（1,850億円）を「予定／平均年限」別にみると、「未記載」が98%（1,810億円）を占めた。記載のあった2%については、すべてが「3年以上5年未満」（40億円）であった（図表11）。

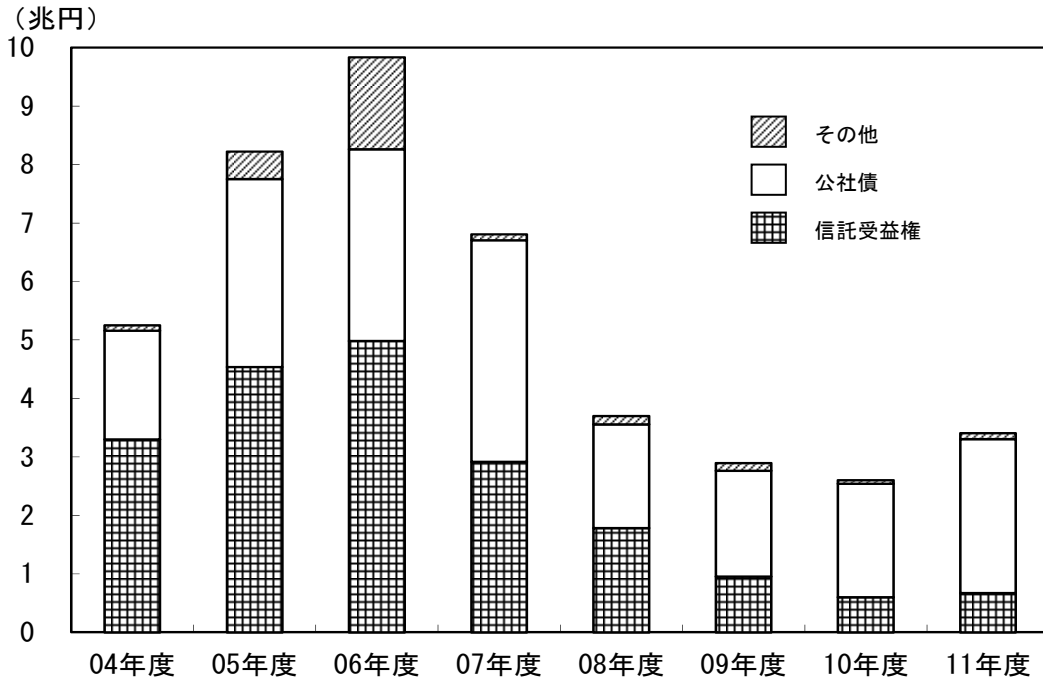
（図表11）CMBSの「予定／平均年限」別発行金額



3. 発行形式別の発行動向

2011年度における証券化商品の発行金額（3兆4,063億円）を「発行形式」別にみると、「公社債」が77%（2兆6,358億円）を占め、次いで「信託受益権」が20%（6,691億円）を占めた（図表12）。

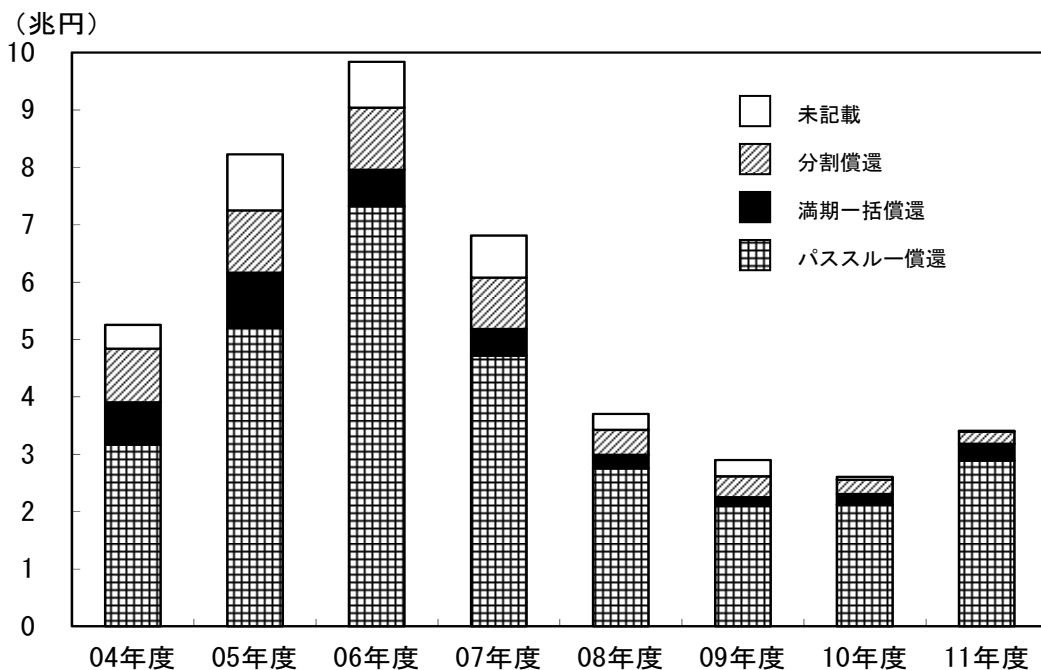
（図表12）証券化商品の「発行形式」別発行金額



4. 償還方法別の発行動向

2011年度における証券化商品の発行金額（3兆4,063億円）を「償還方法」別にみると、「パススルー償還」が85%（2兆8,864億円）を占めた（図表13）。

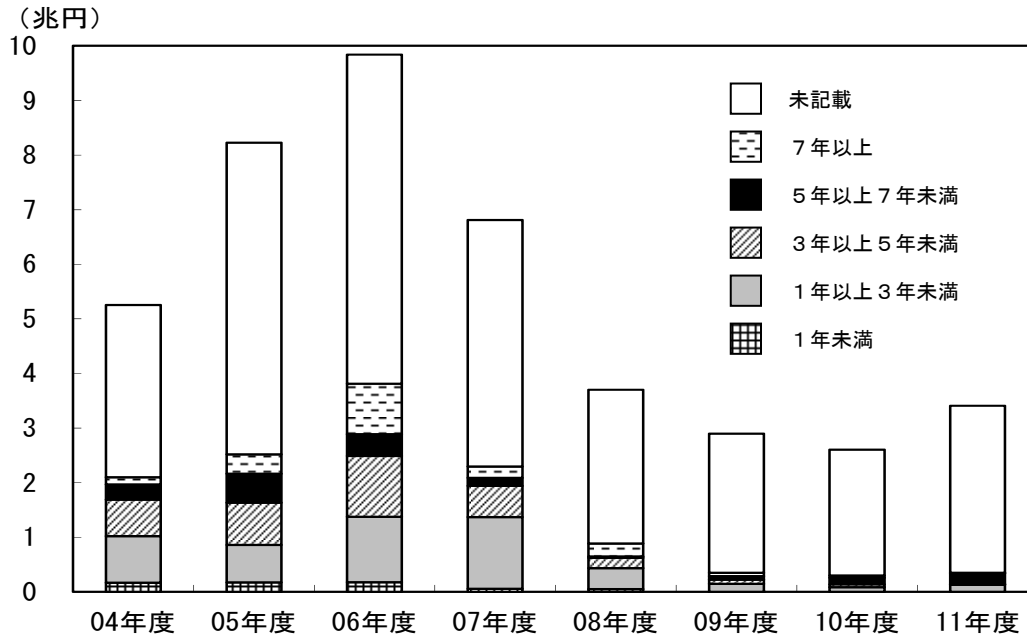
（図表13）証券化商品の「償還方法」別発行金額



5. 予定／平均年限別の発行動向

2011年度における証券化商品の発行金額（3兆4,063億円）を「予定／平均年限」別にみると、「未記載」が90%（3兆575億円）を占めたが、記載のある中では、「5年以上7年未満」が6%（2,000億円）を占め、次いで「1年以上3年未満」が4%（1,323億円）を占めた（図表14）。

（図表14）証券化商品の「予定／平均年限」別発行



6. 格付別の発行動向

2011年度における証券化商品の発行金額（3兆4,063億円）を「格付」別にみると、「AAA」が85%（2兆9,095億円）を占めた（図表15）。

（図表15）証券化商品の「格付」別発行金額

